

甲斐市教育委員会第2回定例会議事録

- 1 日 時 令和元年5月30日(木)午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】三澤宏教育長
【委員】柳本博美職務代理者 中込正久委員
長田明美委員 小林啓子委員
【説明員】樋口充教育部長 加藤文雄教育総務課長
興石信学校教育課長 飯沼秀司生涯学習文化課長
山岡広司スポーツ振興課長 保坂和也図書館長
小山田拓也学校教育指導監 大島正之文化財係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成31年度 第1回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 令和元年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について
第2号 平成31年度双葉西小学校学校運営協議会委員の任命について
第3号 文化財の指定に関する答申について
- 10 その他
(1) 平成30年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について
(2) 平成31年度学校基本調査集計表について
(3) 平成30年度市内中学校3年生進路状況報告について
(4) ≪ラジオ体操のまち甲斐市≫推進計画における平成30年度成果指標実績値の報告について
(4) 甲斐市チャレンジデー2019結果報告について
(4) ≪ラジオ体操のまち甲斐市≫推進計画における平成30年度成果指標実績値の報告について
- 11 閉 会 午後3時30分

○開 会

事務局

開会を宣する。

○あいさつ

委 員

令和になって初めてということで、今日の冒頭あいさつを非常に重く感じ、とても緊張しております。

大きな事件がありましたが、学校訪問がはじまり、今年はどんなテーマでその辺を受けとめながら参加していこうかと考えていました。学校という所は、明治やその前の寺子屋からずっとあったのですが、学校の制度が確立されて非常に長い年月が経つ中で、何をどのように機能していけば良いのか、親が子どもたちに何を望んでいるのか等は、時代で大きく変わってきています。

現在は、学力という学びの部分であり、どんな学びかという人間としての生き方の学びです。これを主に考えないと、今回起こった川崎の無差別テロに近いような事件が起こってしまいます。やはりその中で肝心なものは、心の中で自らが人間として、人として存在している自己肯定感を、学校の中でも、また文科省の中でも強調しているのですが、それをどのように認めていくかだと思います。道徳が教科化になり、そういった部分がどのように変化してくるのかという、いままでよりもその部分について自己肯定感を高めるという部分が欠如していく可能性があるのかもしれませんが、もっと評価のしやすい部分で進んでいくと、やはり人としての自己肯定感という部分や、支え合うという部分が薄れてくるような形になってしまったりは学校の機能が果たせなくなってしまうのかもしれませんが。

また、学校という場所は、ひとつは自らが集団のなかでどう生きていくのか、将来に向けての生き方を学べる大きな機会ではないかなと思うのですが、そういった部分から外れて学力を最優先にしながら優秀な子については大きく開ける道を作られる中で、人として備わっている人をどこでどのような形で世間が認めていくかという、そういったことに繋がった時に最初に評価するという部分が何なのかということを考えてい

かなければいけないような気がしてきました。

学校で日本の文化をこれまでも継承し、またそれを発展させていくという人材を作っていかなければいけないという意味でもやはり心の教育がものすごく重大であると思いました。それに学力などの知識を持って、生きていく術を見つけられれば、全ての子どもたちが恵まれた環境で、心豊かな生き方ができる学校づくりがこれから必要なのだということを考えました。

失敗を恐れずにとすることは良いのですが、失敗の内容は何であるかということが問題になってくると思いますので、そういった部分で人として生きていくため、義務教育の中で、また大学教育、高校教育のかかわる中で、どのように人間を育てていくかということを、もう一度見直す機会が必要ではないでしょうか。

性善説でこれからもいければ良いのですが、人はやはり生まれながらにして善であるということを本当に信じて、互いに認め合いながら生活できるような社会になっていければいいと思います。

令和最初のあいさつにしては非常に雑駁なもので申し訳ありませんが是非これからもよろしくおねがいたします。

○教育長報告

教育長

先日、5月22日、午前11時から、教育委員の皆様には、お忙しいところ、ご参集いただき、教育部スポーツ振興課の一般職非常勤職員が施設の使用料を着服した件につきまして、報告させていただきましたが、当事者を含めた関係する職員の処分につきましては、「甲斐市職員分限懲戒諮問委員会」が6月10日（月）に開催予定であり、その後、市長が最終的な処分を決定します。その結果により、教育委員会の対応を行う予定となりますので、よろしくお願ひします。

それでは、5月の諸報告をさせていただきます。

5月1日は、新天皇即位の日でした。本市教育委員会が所管する小中学校、公民館においては、祝意を表するため、国旗を掲揚しました。

3日は、午前8時30分から、双葉スポーツ公園において、第15回甲斐市野球スポーツ少年団交流・交歓大会が開催され、開会式に出席しま

した。大会は県内ばかりでなく、長野県のチームも参加し、48 チームと盛大な大会でありました。

9 日、10 日は、長野県松本市において、「関東地区都市教育長協議会総会」が開催され出席しました。記念講演では、松本市長が「21 世紀を生きる若者たちへの期待 地球規模の人づくりに向けて」と題して、約 1 時間半講演されました。市長は医師としてチェルノブイリに医療支援に 5 年間行くなど、異色の方で、貴重な体験話を交え、とても良い話を聞けたと思いました。これに関係することですが、山梨県人会連合会総会が 5 月 25 日にアイメッセやまなしで開催され、著名人が多く集まりました。その中で行われた講演の中で、韮崎市の先生のお話がありましたが、松本市長も韮崎市の先生も人とのつながりや出会いに恵まれており、いろいろなものを学ぶ機会にも恵まれていて、それによって大きく成長されたのだなと思いました。講演終了後は情報交換会があり、私は、狛江市、浦安市、桶川市、新座市、さくら市、藤枝市、魚沼市、中野市の教育長と同じテーブルで情報交換させていただきました。次の日は、三つの分科会があり、私は、教育行財政の分科会で、足立区の教育長が「つまづきをバネに誰もが成長を実感できる教育を目指して」学力・不登校・貧困の取り組みについて、事例発表があり、そのあと意見交換会となりました。足立区は、就学援助率が非常に高いですが、様々な取り組みを行い、学力の向上等の成果を上げているとのことでした。資料はコピーしましたので、また、時間があるときにご覧ください。

12 日は、午前 8 時 30 分から、第 15 回甲斐市長杯ソフトテニス大会が西八幡テニスコートで開催され、開会式に出席しました。大会は、小学生から高齢者まで約 250 人が参加するものでありました。

13 日は、午後 2 時半から、総合教育会議が開催され、次期甲斐市教育振興基本計画のスケジュール、策定会議等について、市長と委員の皆様との意見交換を行いました。市長は教育行政に対し、熱い思いを持っていることを改めて感じたところです。

15 日、午前 8 時 30 分から、第 69 次中巨摩春季教育研究会が楡形総合体育館で開催され、出席しました。会議の開催前には、新採用の先

生が一人ずつ紹介され、学校関係者が大きな声援を送り、中には壇上でパフォーマンスをする新採用の先生もいました。

17日は、午後7時から竜王北部公民館において、令和元年度甲斐国際交流協会定期総会が開催され、出席しました。

18日は、午前8時30分から、敷島総合公園運動場にて、第29回甲斐市市民親善グラウンドゴルフ大会が開催され、出席しました。始球式では、体協の田中会長が見事にホールインワンを達成しました。多くの高齢者（約400人以上）が参加する盛況なものでありました。

20日、午後2時から、「甲斐市租税教育推進協議会定期総会」が開催され、平成30年度の事業報告、令和元年度の事業計画（案）が審議され承認されました。そのあと、税理士会、納税貯蓄組合等の取り組み状況等の紹介がありました。本市の小中学校の児童生徒は、税についての作文、標語の公募に出展し、優秀な成績を納め、表彰を受けていました。

21日、午後2時から、教育委員会定例課長会議があり、教育委員会職員による公金着服の事件について、説明するとともに、二度とこのようなあつてはならない事件が起きないように、指導等行いました。

夜7時から、平成31年度の第2回チャレンジデー実行委員会に出席しました。

甲斐市と秋田県の由利本荘市のエール交換として、双方のビデオレターを披露しました。

防災の機能を備えたスタジアムの映像がありましたが、四方の映像画面があるなど素晴らしい建物でした。そのほか、ラジオ体操の優良表彰についても協議され、本市の取り組みも表彰されることとなりました。約750人が年間約240日、9年継続しております。社会福祉協議会、第一生命竜王営業所も同様に表彰となりました。

22日、午前10時から、行政連絡調整委員委嘱式が開催され、特別職及び幹部職員の紹介があり、市長、副市長、部局長と出席しました。

11時15分からは、教育委員会職員による公金着服の事件について、教育委員の皆様にご説明させていただきました。

午後1時から、甲斐市議会全員協議会において説明し、1時半から

は記者会見を開き説明しております。

同時刻に、甲斐市臨時議会が開催され、双葉東小学校校庭での児童の負傷事故に係る和解及び損害賠償の額について、議会へ報告しております。

26日は、午前7時30分から、甲斐市内支部対抗球技大会（ソフトボール・バレーボールの部）開会式が双葉スポーツ公園で開催され、出席しました。

午前9時から、第50回全国ママさんバレーボール大会県予選会が敷島体育館で開催され、教育部長が出席しました。

27日は、午後1時30分から、令和元年度第1回甲斐市子ども・子育て会議が開催され、私が会長に選出されました。子育て健康部では、教育委員会の教育振興基本計画と同様に、「子ども・子育て支援事業計画」を今年度中に策定することとなります。この計画は、本市が目指している「甲斐市で育ち甲斐市を育てる人づくりに」に深く関係するものでありますので、計画策定にあたっては、会長でもあり、内容に注視してまいります。

本日、30日は、午前中、敷島小学校の学校訪問、午後1時30分から、定例の教育委員会でありました。31日は、「関東甲信越教育委員会連合会」が北杜市で開催されます。

委員の皆様のお席をお願いいたします。

以上、5月の諸報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議 題

第1号 令和元年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について

事務局

(資料説明)

教育長

以前に議会からも学校評議員は学校あたり6人以内となっておりますが、その人数のバランスを良くした方が良いとの意見が出されました。こちらは、校長先生が評議員にいろいろなことを質問したいというこ

とですので、私たちからこうしてほしいなどとは言うことはできません。

委員 以前からの流れもありますからね。6人いるところは双葉東小、西小だけです。

事務局 その2校のみです。

委員 6人以内なので問題はないですね。

教育長 問題はありません。若い人は38歳の方がいます。最年長は85歳です。その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

第2号 平成31年度双葉西小学校学校運営協議会委員の任命について

事務局 (資料説明)

教育長 第1回はいつごろでしょうか。

事務局 5月の中頃になります。

教育長 もう既に開催されたのです。昨年、課題として、委員様方はいろいろな事業を学校側にやっていただきたいと提案をされています。この辺を踏まえて、令和元年度の事業の方向などは決まっているのでしょうか。

事務局 特段新しい話題はありませんでした。今年度の学校の動きとしては、小中連携の推進事業の研究会と中巨摩食育推進の公開研究会をどちらも1月に予定していますので、そちらについてご理解ご協力いただきたいということで、話題にあがりました。後は引き続き学校応援団の活性化や応援団の持続などは課題として話題になりました。

委員 こういった取り組みをして、課題は何がありますか。

事務局 双葉西小では学校応援団の取り組みが活発で、それがコミュニティスクールの特色でした。しかし、応援団に関わっていただく方々の高齢化や新しい世代にスムーズに移行が出来ていないというのが課題としてあります。今回も新しいPTA会長がいらっしゃったので、PTAにも呼びかけをする中で、親の世代からの参加ができないものかという話にもなりました。とても広く活動してきましたので、それがどの程

度が適正なのかということも含めて、続けられるかたちとは何かという問いがここ2、3年の課題になっています。

教育長 やはり継続していくことが大切ですので、また、課題については検討していきたいと思います。その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

第3号 文化財の指定に関する答申について

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

○その他

(1) 平成30年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

三澤教育等 平成30年度創甲斐教育推進事業の進捗状況につきましてそれぞれ報告がありました。なにかご質問等ございますか。

委員 学校教育の充実について、6-1と6-2で先ほどご報告をいただきましたが、山梨環境学習プログラムは市にも関係するものがあり、大いに活用しているというお話がありましたが、その下の小学校1～4年の「国際理解の時間」の取り組み時間数(12時間)の達成数とあります。この両者はいずれも100%を目指しているのですが、12時間というのは決まりがあるのでしょうか。あるとしたら、そこに達していない学校はどのように達していないのか、達するように指導するなど、

指標があるのであれば、そこへの指導などはどうなっているのでしょうか。

事務局

16 校会の中でも年度ごとの進捗状況については説明する場面がありますので、今ご指摘のあったような低い項目については当然目標の達成に向けて取り組んでいかなければなりません。そういったところは学校に話をしています。環境教育の充実についてはやはり県の資料を確認しましたが、WEB上で入っていくと、そこに色々なワークシートなどが載っていて、一回入って使うと、とても良いものです。しかし、なかなか忙しい中でインターネットのHPまで開くところまで行くことができません。その辺はまた 16 校会などで良い資料であるというのをアナウンスして、環境プログラムの実施率も上げていきたいと考えています。どうしても手元にある紙資料の方が使いやすいのもあり、1人1冊ずつあてがわれておりますので、市のものの使用率が100%となっております。ただ、県のものも良い資料がありますので、また取り組んでいきたいと思えます。

また、その下の「国際理解の時間」の12時間につきましては国によって教育課程に位置付けられているものではなく、本市の取り組みとして、幼児期からALTを活用しながら英語に親しむ習慣をつけようということで、本市独自で行っているものです。達成率が72.7%ですが、具体的には小学校11校のうち8校が達成するとこの数値になります。残り3校についても数値で把握をしております。しかし、見ていきますと本当に12時間に対して11時間など、あと1時間延びると達成に近づくところですので、達成は可能であると思えます。年度始めなどに予定を入れながら、令和元年度は100%達成に向けて取り組んでいきたいと思っております。

教育長

補足させていただきますが、環境副読本はこの計画を立てた後に甲斐市のバージョンの良いものが出来上がりました。これは10年間の目標ですので、最初の項目を立てる時に長すぎました。次の計画は5年間で行いますので、その辺も加味して目標の数値を考えていきたいと思えます。

事務局

国際理解の時間についてですが、3、4年生は新学習指導要領の移

行期間ということで、甲斐市では 15 時間を外国語活動としてやりましようとなっており、それにならって 3、4 年生を見ると、15 時間はすべてクリアしています。その部分に A L T を優先的に配置をするということから、1、2 年生は少し下がり気味になっていますので、影響しているように思います。いずれにしても来年度から大きく変わってしまいますので、それにもなってこの指標も合わないことになってしまいます。

柳本職務代理 今の外国語について、12 時間をどこで取って生み出しているのでしょうか。各学校が工夫しながら生み出すしかありません。ではその外国語活動をしている時間はいつ、どのへんなのかという説明があると良いと思います。

事務局 70 時間を確保するというのが 5、6 年生となり、3、4 年生は 35 時間ということになります。つまり、週 2 コマと週 1 コマとなります。これが来年度から正式にスタートします。

近隣の市町では既に先行して時間を確保している所もありますが、甲斐市においては移行期間ということで、現状では 5、6 年生は 50 時間で 3、4 年生は 15 時間で段階的に行っています。

週 2 コマということは単純に週の時間割にコマが増えるということとなりますので、全国の教育関係者が皆、頭を悩ませている所ですが、単純に 1 コマ増やすというのはなかなか難しいです。

今まで水曜日が 5 校時で会議や研究会が入っていた所に入れるわけにはいきません。甲斐市としては現状は 15 分のモジュールをやっています。去年は朝やっていましたが、朝は難しいということになり、今年からは昼休みの後に 15 分入れて対応しています。しかし、来年度本当に対応できるかということは、今後、教育課程の研究委員会を何度か開催する中で学校現場の意見を聴きながらしていく予定です。

教育長 検証していただくということですね。そういう中でやりくりしているのですが、給食時間の問題はどうなったのでしょうか。20 分とれているのでしょうか。

事務局 中学校は 20 分間取れています。小学校は確認待ちです。

教育長 ではそれを含めて今課題がどんなところにあるのか教育委員会で報

告をしてください。

委員 A L T についてですが、大きな学校だと一斉に指導はできないですね。

事務局 中学校については各学校に 1 人ずついます。竜王北中学校は規模が小さいのですが、他の 4 校は各クラス 1 時間入っています。概ね 15 時間～16 時間が持ち時間となります。竜王北中は一人の A L T を 4 時間のうち 2 時間持たせて、16 時間となっています。小学校については 2 校に 1 名配置しています。概ね 15～20 時間の持ち時間となっています。

委員 A L T を増やすというのは難しいですよ。

教育長 内部的にも検討していますが、財政面で難しいです。近隣の状況を調べると、A L T の数は甲斐市はどちらかというと手厚いのですが、財政サイドが、そんなに必要なのかと言ってくる。英語の助手ではないかと言われます。今後英語も 5 年生 6 年生が教科化になり、3 年生 4 年生がその前段階となりますので、みなさまの意見を聴きながら進めていきたいと思えます。

委員 英語活動ということで、何か特色のある活動をするといっても、例えば 1、2 年生であれば一括りにして活動する方法もあるのですが、できれば少人数で活動していくほうがより成果に結びつくと思えます。

そうすると、教科化していく中で、1 単元の時間数はどこへ入れるのかという問題が出てきますし、今、英語には専科教諭を当てようと国が動いているようですので、動向を見ないとはいけません。

教育長 ではその動向も見ながら検討していきたいと思えます。

委員 学校教育の充実の 2-4 読書への取り組み状況についてですが、この設問の文章だと「1 日当たりどのくらいの時間、読書しますか」とありますが、読書というと自分で黙読するイメージです。低学年は自分で読むことがストレスになるので、家庭で人に読み聞かせてもらっている子どももいると思えます。読んでもらう方が理解もできて、読み聞かせることが大事だと図書館ボランティアも活動しています。家の人に読み聞かせをしていただいているということも含めればパーセンテージも上がるし、保護者の人がたくさん読み聞かせをする啓発にな

るといいなと思いますので、読書という範囲を広げることにはできると
思います。

事務局

言葉の問題ですので、アンケート上は読書ということで16校でとっ
ていますが、厳密にいうと、担任の先生によっては1年生のあるクラ
スでは読み聞かせを含んでいたり、あるクラスでは含めていない所が
あるかもしれません。

そこまでは確認はできていませんが、その辺の文言を変えれば数値
は上がっていくと思われしますので、また検討していきたいと思います。
また、携帯電話やスマートフォンでも読書ができるのですが、それは
この中には入っていませんので、その辺も更新していく中で現在の実
態に合った言葉にしていきたいと思います。

委 員

平日に宿題や習い事をしている子が多いと思います。そういう中で
読書の時間を30分取れますでしょうか。

事務局

これも10年前の状況と変わってきていて、一つはスマートフォンの
普及があり、家庭学習の時間を確保できないということと絡むのです
が、家でスマートフォンをいじる時間が多くなっていることが多く影
響していると思います。なかなか現代では読書に30分という数値は難
しいと思っています。

子どもたちの家庭での生活の仕方が、10年前と変わってきています。
その一方で、学力が低いので、家庭学習もしっかりやらせたいという
こととなると、読書の時間も減っていきます。これらについては、ま
た新しい指標の中で精査していく必要があると思います。

教育長

時代が変わってきているので読書をする時間が短くなっています。

委 員

学校図書館を利用した日というのは調査でもだいぶ分かっている
と思います。小学生の休み時間は移動だけで10分とっているところ
があるので、時間と時間の間に図書館へ行くという子もいます。

委 員

英語のモジュールで時間が減ってきていうこともあります。

事務局

学校ではそういった状況をうけて、ほぼ全ての学校で朝読書、小学
校はいろいろな活動があるので週に2、3回だと思いますが中学校は
毎日しています。読書離れを防ぐという観点で家庭の時間で読書でき
なかつた分を学校で行う朝読書については浸透しています。

教育長 30分以上というのが難しいですね。これもまた指標のところを考えていきたいと思います。その他ご質問はございますか、よろしいですか。

一 同 異議なし。

(2) 平成31年度学校基本調査集計表について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見ご質問はございますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(3) 平成30年度市内中学校3年生進路状況報告について

事務局 (資料説明)

委員 平成31年度高校入試における過年度卒業生の受験状況にあります1名についてはどうなったのでしょうか。

事務局 結果については報告に含まれていないため確認はとれていません。

教育長 受験したというだけですね。その後も聞いていただきたいと思えます。

委員 過年度でも受けることはできるのですね。

委員 中学を卒業すればできます。無業者数についてですが、卒業してしまうと手を離れてしまうので心配ですね。

教育長 不登校の子がそのまま引きこもりになってしまうことが心配ですね。

委員 学校から手を出せなくなってしまう。卒業生までずっと追跡することは難しいと思います。

教育長 その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(4) ≪ラジオ体操のまち甲斐市≫推進計画における平成30年度成果指標実績値の報告について

事務局
委員

(資料説明)

ラジオ体操を推進しているということで、冒頭に言われた「健康増進のため」ということが大きいと思いますが、それと併せて、生涯学習の場面で3世代ふれあいラジオ体操などの地域の触れ合いやつながりという意味合いもあると思います。実際には触れ合いという部分もあり成果もあげています。

事務局

《ラジオ体操のまち甲斐市》推進計画の中でも、「思いをつなぐラジオ体操」ということで、健康ということと、世代間交流、活力あふれる地域づくりということを目的とした中で、各担当部署に事業を行っていただき、世代間交流なども取り入れながらラジオ体操を普及していきたいという計画となっています。

教育長
一同

その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(4) 甲斐市チャレンジデー2019 結果報告について

事務局
教育長

(資料説明)

高い数字を達成してしまいましたので、今後どうなるのかという所があります。これ以上数字を増やすことは相当厳しいと思いますが、来年もありますのでまたよろしく願いいたします。

ご意見、ご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

一同

異議なし。

(6) 6月の行事予定について

事務局
教育長

(資料説明)

14日の金曜日ですが、私が議会で出席できないため、職務代理者につきましては教科書の採択協議会へのご出席をお願いいたします。

一 同 異議なし。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後 3 時 3 0 分